

佐賀大学医学部附属
看護学教育研究支援センター

—地域の看護職の質向上をめざして—

令和3年度年報

Contents

令和3年度看護学教育研究支援センター事業報告

教育研究実践支援部門	・・・・・・・・・・	1
人事交流支援部門	・・・・・・・・・・	5
国際交流支援部門	・・・・・・・・・・	5
センター関連の研究業績	・・・・・・・・・・	5

教育実践支援部門は、部門責任者を含め、医学部看護学科教員 11 名と佐賀大学医学部附属病院看護師 2 名が担当している。本部門では、佐賀県内で教育・指導、研究、実践に携わっている看護職を対象に、研究支援と継続教育を行った。また、研修会等の講師として、地域の看護職のレベルアップに貢献した。令和 3 年度の支援状況について報告する。

(1) 継続教育としての実践レベルアップ研修

継続教育プログラムでは、小児在宅医療や医療的ケア児等へのケアができる医療者育成を中心に 10 回の研修を実施し 171 名への支援を行った。看護師のための臨床に役立つ解剖学スキルアップでは、4 回の研修を実施し 16 名が受講した。また、佐賀県糖尿病コーディネーター看護師の育成研修では、6 名の糖尿病コーディネーター看護師を育成した。看護部主催では、専門看護師・認定看護師による「令和 3 年度スキルアップ研修」は 7 回開催され 67 名が参加し、そのうち院外から 8 名が参加した。

さらに現場の求めに応じて、看護学科の教員や医学部附属病院看護部の看護師が病院や看護協会、保健福祉事務所、佐賀県、佐賀市などへ出向き、研修や講演などの講師を務めた。今年度、看護学科教員の講師派遣は 41 件、看護部の院外講師派遣実績 157 件であった。

(2) 研究支援

研究支援については、佐賀大学附属図書館の協力のもとで、申請者が研究に必要な文献を活用できる環境を継続して整えた。研究支援の申請があれば、申請目的に応じて、その分野に最もふさわしい教員を決定し、研究計画書の作成から学会等での発表まで、マンツーマンで指導している。

研究支援状況は令和 3 年度の新規受け入れはなく、令和元年度からの継続支援 2 件に対応した。申請施設数は、令和元年度からの継続分 1 施設であった。研究支援のうち、全国規模の学会発表が 1 件であった。

(3) 講演会の開催

今年度も、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の医療職対象に、オンラインにより講演会を開催した。テーマは、特定行為研修の理解を深める機会となるよう、研修制度の概要と実践報告について講演会を行った。

配信期間

令和3年11月1日（月）～令和3年11月30日（火）

看護学教育研究支援センターホームページ限定公開

【講演】 特定行為に係る看護師の研修制度の概要

佐賀大学医学部附属病院 医師育成・定着支援
センター 特任教授 特定行為研修管理委員会委員
江村正 先生

【実践報告】

・急性期関連

佐賀県医療センター好生館 副看護師長
佐藤裕美 先生

・創傷管理関連

佐賀大学医学部附属病院 看護師長 酒井宏子 先生

・在宅・慢性期領域

社会医療法人祐愛会 訪問看護ステーション ゆうあい 管理者 吉井朋代 先生

佐賀大学医学部附属看護学教育研究支援センター講演会

オンデマンド講演会のご案内

*新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンデマンドでの講演とさせていただきます。

【講演】 特定行為に係る看護師の研修制度の概要
佐賀大学医学部附属病院 医師育成・定着支援センター 特任教授
特定行為研修管理委員会委員 江村正 先生

【実際報告】

急性期関連
・佐賀県医療センター好生館 副看護師長 佐藤 裕美 先生

創傷管理関連
・佐賀大学医学部附属病院 看護師長 酒井 宏子 先生
在宅・慢性期領域
・社会医療法人祐愛会 訪問看護ステーション ゆうあい
管理者 吉井 朋代 先生

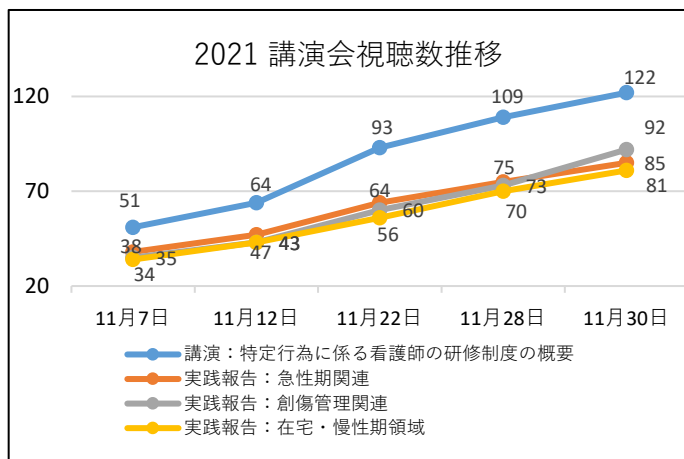
【配信方法】
・看護学教育研究支援センター ホームページ
URL : <https://scerns.med.saga-u.ac.jp/>
*申し込み不要 *視聴人数制限なし *参加費無料

【配信期間】
・令和3年11月1日（月）～令和3年11月30日（火）

【主催】
・看護学教育研究支援センター
センター長 古賀 明美（佐賀大学医学部看護学科 教授）
副センター長 藤満 幸子（佐賀大学医学部附属病院看護部長）

*問い合わせ先
佐賀大学医学部附属病院 看護管理室 吉田ひとみ（副看護部長）
電話：0952-34-3333

視聴状況

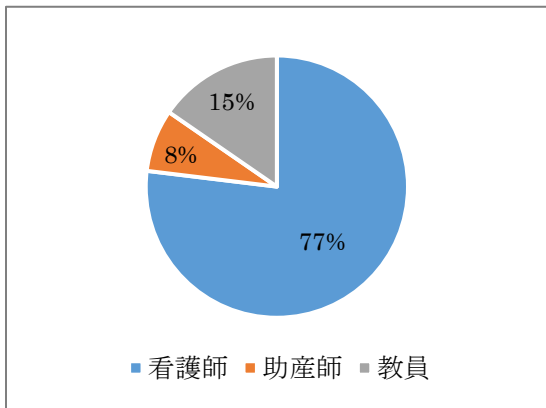


演題	閲覧数
講演：特定行為に係る看護師の研修制度の概要	122
実践報告：急性期関連	85
実践報告：創傷管理関連	92
実践報告：在宅・慢性期領域	81

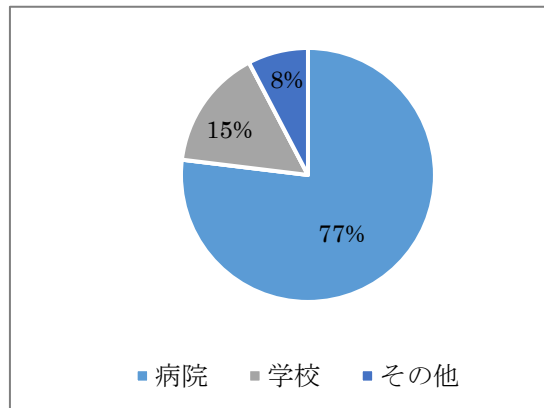
*11月22日（月）佐賀県主催の【看護師の特定行為に関する講演会】において講演の紹介があった。

参加者のアンケート結果 13名 : 看護学教育研究支援センターURL 上アンケートより

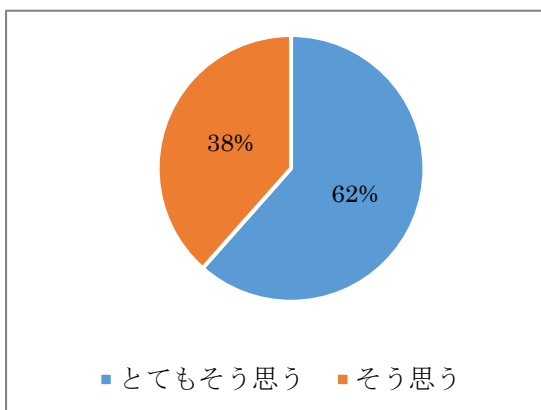
1. ご自身の職業について



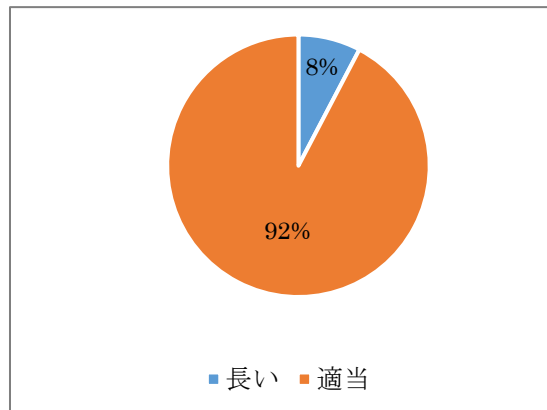
2. 勤務するご施設について



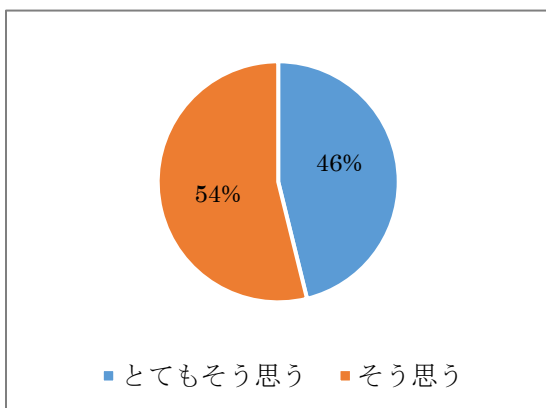
3. 江村先生のご講演「特定行為に係る看護師の研修制度の概要」は、これからの施設での取り組みにおいて参考になりましたか



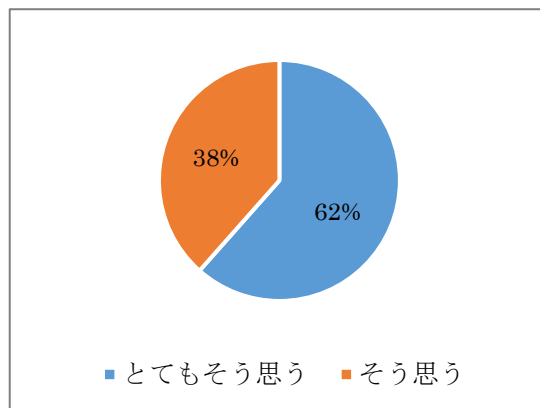
4. 講演の時間について



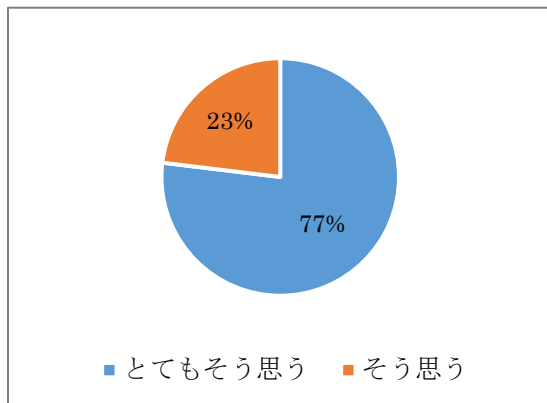
5. 佐藤裕美先生のご報告「急性期関連」のご報告は、これからの施設での取り組みにおいて参考となりましたか



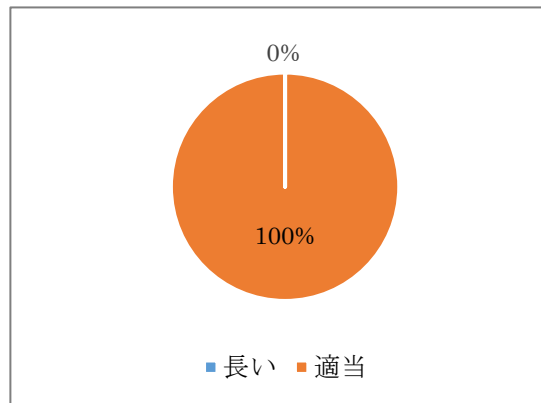
6. 酒井宏子先生のご報告「創傷管理関連」のご報告は、これからの施設での取り組みにおいて参考となりましたか



7. 吉井朋代先生の「在宅・慢性期領域」のご報告は、これからの施設での取り組みにおいて参考となりましたか



8. 実施報告について



9. 講演に対するご質問やご意見

- ・ 特定行為に関わる看護師の役割や必要性について十分に理解できていない部分があったが、実際の活動内容（実践報告）を知ることができ、特定行為に関わる看護師の役割を理解し、必要性を感じた。
- ・ 頭を使わなくなった医師、頭を使わなくなった看護師は、共感できました。
- ・ 江村先生の講演から、医師が望むこととしてタスクシフティングが強調されがちですが、看護師の臨床判断能力やチーム医療の充実が望まれていることが理解できました。また、様々な領域の実践報告より、看護師の患者サービス中心のケアが実践されていること、医師との対話によって臨床判断能力が向上していくことを理解できました。貴重な実践報告をありがとうございました。
- ・ 特定行為研修を修了することにより、医師の思考のプロセスを理解することに繋がり、より患者の生活に目を向けた治療方針について医師と検討することができると感じた。
- ・ 特定行為のことをあまり知らなかったので、勉強になりました。ありがとうございました。

人事交流支援部門

部門責任者 田淵康子

人事交流支援部門は、部門責任者を含めて医学部看護学科教員 7 名と佐賀大学医学部附属病院看護部看護師 1 名の合計 8 名が担当している。本部門では、看護職者相互のキャリア向上を目指して、看護学科・地域の病院・行政機関の間での人事交流を支援している。令和 3 年度は、COVID-19 の感染の影響により、人事交流を行うことができなかった。

国際交流支援部門

部門責任者 藤野成美

国際交流支援部門は、部門責任者を含めて、医学部看護学科教員 5 名と佐賀大学医学部附属病院看護部看護師 1 名の合計 6 名が担当している。平成 27 年 2 月に、看護職の国際交流を推進するために副部門責任者を置き、さらに支援の内容によっては、他部門の教員の協力を得て、支援を行う体制を取っている。

本部門では、看護職や看護学生の国際交流の支援、国際医療協力活動への看護職の派遣などを実施している。以下に、令和 3 年度の主な活動を報告する。令和 3 年度は、COVID-19 の感染拡大の影響で全ての国際交流事業が中止になった。

(1) 交換留学支援

台湾の輔仁カトリック大学看護学部看護学科との交換留学は、感染拡大のために中止となった。

(2) 青年海外協力隊に参加した看護師の帰国後の就職支援

佐賀大学の卒業生で、ブラジルでの 2 年間の勤務を終えて帰国した看護師 1 名の就職支援を実施した。福岡県内の看護系大学の教員への就職が内定した。

(3) 国際看護・災害看護研修の学習支援

看護学科 4 年生の学生 1 名の国際看護・災害看護研修（オンライン開催）の学習支援を実施した。（米日カウンセラーズジャパン主催の TOMODACHI プログラムへの参加）

センター関連の研究業績

1. 井上香織（独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター）：看護師が認識する強度行動障害の問題行動低減に対する統一した計画実践に影響する要因. 第 75 回国立病院総合医学会. 2021. 11. 23. 第 75 回国立病院総合医学会プログラム・抄録集, 1401

【研究支援：村久保雅孝】

令和3年度年報
佐賀大学医学部附属看護学教育研究支援センター
—地域の看護職の質向上をめざして—

令和4年3月31日発行
発行者：佐賀大学医学部附属看護学教育研究支援センター
〒849-8501 佐賀市鍋島5-1-1
発行責任者：センター長 古賀明美
制作：佐賀大学医学部附属看護学教育研究支援センター